

その他の小売業におけるフォークリフトを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	3~4	リフトで運搬作業中、狭いところでパレットの向きを変えようと手で引っ張ろうとしたとき、後ろ向きに転びそうになり、左手をついて転倒し肩を強打した。	75~99	50
2	20~21	コンテナ仕分作業場付近、パレットに積んだキャベツをウォークリフトで冷蔵庫に運搬作業中、後ずさりしていた時、スペースの空き間隔が分からず、柱にぶつかり、右足がウォークリフトのタイヤに巻き込まれた。	40~299	100
2	15~16	当社営業所内にて、商品の出荷作業中に被災した。被災者は、商品梱包に必要なダンボールを棚（高さ260cm）から取ろうと、フォークリフトの爪（鉄製、12×22cm、厚さ1.5cm）に乗り、同僚に爪を250cm程の高さまで上げてもらい段ボールを取ろうとしたところ、足を滑らせ地面に落下した。右肩より落下したが、最終的にはうつ伏せ状態になり、顔面（口唇）、右肩～右上腕、胸部、両脚を負傷した。なお、被災者は、ヘルメットを着用していなかった。	44	—
7	15~16	資材館入口付近で接客中、お客様問い合わせの不明な点を社員に確認しようと、フォークリフトを運転中の社員の所へ行こうとしていた。その際フォークリフトの前方の「爪」の存在を忘れて、そのまま前へ回り込み「爪」につまずき転倒し被災した。	61~29	10
11	14~15	工場前にてフォークリフトの左側を、仕事の話をしながら平行して歩いている時に、フォークリフトが右側に急展開し、左後輪で右足甲と右足指を踏まれる。	44~29	10
		中古パーツ（エンジン・トランスミッション）を保管している倉庫内で、中古パー		10

11	18～ 19	ツ（トランスミッション）の整理中、フォークリフトを棚に横付けした状態で棚に入れようとしている時に、操作を誤り、棚とフォークリフトで左足を挟んでしまった。	32	～ 29
11	13～ 14	当社作業場にて、高さを測ろうとして被災者がフォークリフトのバケット部に乗り、バケットを上まで上げた後、床まで下げようとしていた。約2m弱の高さまで下げたところで一旦止めた後、バックしながらバケットを下げようとしたが、バケットが下がらなくなり、再度下げようと操作したところ、バケットが急に下がり転倒し、頭と肩を強打した。	38	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html